



# お知らせします まちの家計簿

## 平成19年度決算報告

▶問い合わせ=財政課 ☎(32)8002 FAX(32)2165

三好町の平成19年度決算が平成20年第3回三好町議会定例会(9月)で認定されました。決算は皆さんに納めていただいた貴重な税金や国、県からの補助金などが何に使われたかをまとめました。今回は皆さんに町の財政状況を正しく理解していただくため「まちの家計簿」、決算の状況をお知らせします。



平成19年度の一般会計と特別会計を合わせた決算額は、歳入377億1207万円、歳出353億412万円でした。前年度と比較すると、歳入で44億2341万円(13.3%)、歳出で46億1361万円(15.0%)の増加となりました。

町では計画的かつ効率的な行財政運営により、平成19年度の一般会計では、実質収支(歳入決算額から歳出決算額を差し引いた額)から翌年度へ繰り越すべき財源を除いたもので、16億1821万円の黒字決算となりました。

### 【町の財政状況は】

町の財政状況を示す各指数は次のとおりです。どの指数もすべて良好な数値を示しており、健全な財政構造が保たれているといえます。

**公債費比率** 5.6%

地方公共団体の借入金(地方債)について、毎年返済していく元金と利子の総額(公債費)の一般財源に占める割合です。財政の健全性を保つには、10%を超えないことが望ましいとされています。

**経常収支比率** 67.1%

歳出のうち人件費(給与や報酬など)や公債費など経常的な支出の、町税や地方譲与税などの経常的な収入に占める割合です。財政の弾力性を表し、数値が低いほど柔軟な対応力があります。80%を超えると弾力性が乏しいとされます。

**実質公債費比率(3年平均)** 6.2%

地方公共団体の収入額に対する借入金返済額の割合の事で、借入金には一般会計だけでなく特別会計や企業会計の借入金も含めます。この比率が18%を超えると、地方債を発行して借入する際に県の許可が必要な団体となります。

**財政力指数(単年度)** 1.96

基準財政収入額を基準財政需要額で割って算出した数値で、地方公共団体の財政力の強弱を示す指数です。1.0より多いほど財源にゆとりがあるといえます。指数が1.0以上の地方公共団体には国から普通交付税が交付されません。

# 一般会計 報告

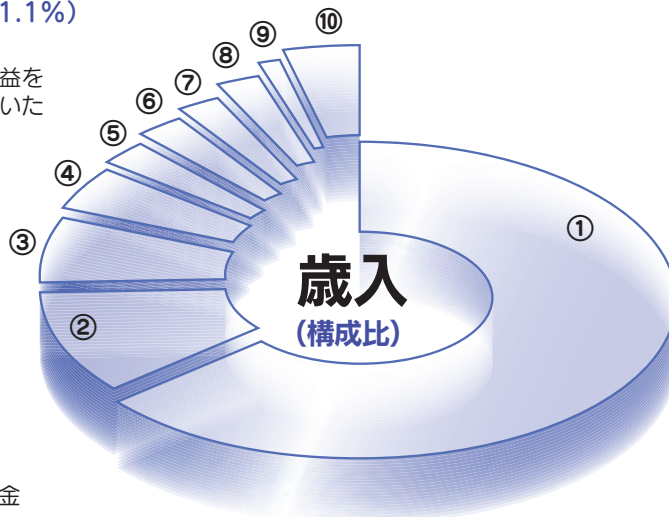
基本的な経費を計上した会計です。

## 【歳入】

一般会計の歳入決算額は、283億323万円でした。前年度と比較すると40億1710万円(16.5%)の増加となりました。

その主な要因は、自動車関連企業の好業績による法人税増収を主とした町税21億6572万円の増加や小・中学校建設基金繰入金の増を主とした繰入金11億51万円の増加などが挙げられます。

### 歳入決算額 283億323万円



#### ⑧ 地方消費税交付金(2.1%)

5億9739万円  
消費税の一部を県から  
交付されたお金

#### ⑨ 分担金及び負担金(1.1%)

2億9708万円  
保育料などの特定の利益を  
受ける人から負担していた  
お金

#### ⑩ そのほか(3.8%)

11億788万円  
地方譲与税  
利子割交付金  
配当割交付金  
株式等譲渡所得割交付金  
ゴルフ場利用税交付金  
自動車取得税交付金  
地方特例交付金  
地方交付税  
交通安全対策特別交付金  
使用料及び手数料  
財産収入  
寄附金

#### ① 町税(63.9%)

180億7012万円  
皆さんから納めていただいた税金  
(下記の町税決算額内訳を参照)

#### ② 繰入金(10.7%)

30億4208万円  
基金の取り崩しや特別会計から  
繰り入れをしたお金

#### ③ 繰越金(6.6%)

18億6335万円  
前年度から繰り越されたお金

#### ④ 国庫支出金(4.5%)

12億7165万円  
国から交付されたお金

#### ⑤ 県支出金(2.6%)

7億3352万円  
県から交付されたお金

#### ⑥ 町債(2.5%)

7億1250万円  
施設などをつくるために町が  
借り入れたお金

#### ⑦ 諸収入(2.2%)

6億766万円  
ほかの科目に含まれないお金、  
預金利子や雑入など



#### ■平成19年度の町税決算額内訳

税目	決算額	対前年度比
町民税	113億8985万円	18.0%
個人	45億5332万円	16.2%
法人	68億3653万円	19.2%
固定資産税	55億2384万円	7.3%
軽自動車税	6933万円	2.9%
町たばこ税	3億1058万円	4.0%
都市計画税	7億7652万円	5.4%
合計	180億7012万円	13.6%

# 平成19年度 決算

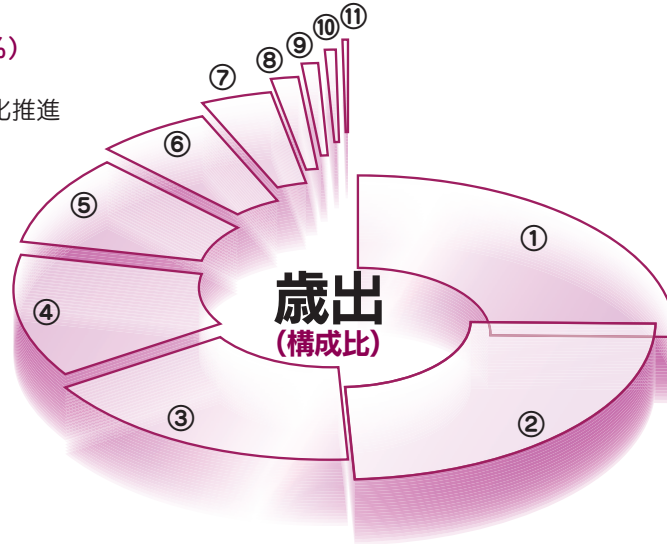
一般会計とは、町が行う行政運営の

## 【歳出】

一般会計の歳出決算額は、266億679万円でした。前年度と比較すると42億4400万円(18.9%)の増加となりました。

その主な要因は、新庁舎整備基金を主とした総務費25億4045万円の増加、黒笹小学校整備事業を主とした教育費22億7497万円の増加などが挙げられます。

### 歳出決算額 266億6679万円



⑦ 消防費(3.6%)  
9億7571万円  
消防活動や防災対策の費用

⑧ 農林水産業費(1.5%)  
3億9601万円  
農業、地籍調査、緑化推進などに関する費用

⑨ 商工費(0.7%)  
1億8781万円  
商工業の振興や観光事業に係る費用

⑩ 議会費(0.7%)  
1億8525万円  
議会活動の費用

⑪ 労働費(0.1%)  
921万円  
町内の勤労者を支援する費用

① 総務費(25.3%)  
67億4775万円  
一般的な管理事務や市町村に共通的に必要な費用

② 教育費(23.9%)  
63億7178万円  
小・中学校、幼稚園、生涯学習などの振興の費用

③ 民生費(16.8%)  
44億8439万円  
高齢者、障害者、児童などの福祉の費用

④ 土木費(12.5%)  
33億2357万円  
道路、河川、公園などに係る費用

⑤ 衛生費(9.1%)  
24億2366万円  
ごみ処理、保健衛生などの費用

⑥ 公債費(5.8%)  
15億6165万円  
借入金の返済費用

#### ■主な歳出事業

##### ◆総務費

庁舎整備基金積立金

30億円

##### ◆教育費

黒笹小学校整備事業  
南部小学校増築事業

31億7936万円  
1億3240万円

##### ◆民生費(児童福祉・高齢者福祉などの経費)

福祉基金積立金  
児童手当

5億2005万円  
4億7923万円

黒笹保育園整備事業  
天王保育園建替事業

2億2164万円  
6748万円

##### ◆土木費

下水道事業特別会計繰出金  
町道三好ヶ丘駒場線道路改良事業

6億7219万円  
2億1623万円

##### ◆衛生費(環境、衛生などの経費)

三好町民病院負担金  
尾三衛生組合負担金

6億7546万円  
5億934万円

##### ◆消防費

防災基金積立金

1億5224万円

##### ◆農林水産業費

県営畑地帯総合整備事業補助金

1155万円

##### ◆商工費

がんばる商店街補助金

2000万円

##### ◆議会費

議会映像インターネット配信事業委託

412万円

##### ◆労働費

勤労青少年ホーム受付業務委託

441万円

## ■性質別に見た 歳出決算額の内訳

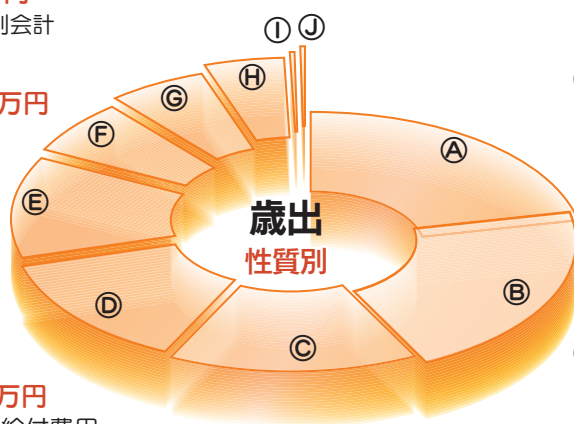
⑦ 繰出金(6.4%) 17億902万円  
一般会計と特別会計、または特別会計相互間において支出される費用

③ 公債費(5.9%) 15億6165万円  
借入金の返済費用

⑧ 扶助費(4.7%) 12億4606万円  
高齢者、障害者、児童などへの給付費用

① 維持補修費(0.3%) 8447万円  
公共施設などの維持補修費用

⑨ 投資費及び出資金、貸付金(0.1%) 3300万円  
債権や株式の取得に係る費用や、町が貸し付けを行うための費用



④ 積立費(21.7%) 57億9767万円  
基金に積み立てるための費用

② 投資的経費(21.0%) 56億1093万円  
道路や建物などの建設事業や用地の購入などに関する費用

⑥ 物件費(14.6%) 38億8692万円  
主に、委託料、役務費(郵送料、電話料、手数料など)、備品購入費、需用費(消耗品費、印刷製本費、光熱水費など)

⑤ 人件費(13.4%) 35億6258万円  
職員の給料や議員の報酬の費用

⑩ 補助費(11.9%) 31億7449万円  
各種団体への補助金や交付金、謝礼などの費用

## ■町民の皆さん一人当たりに対し使った決算額の内訳

### 【衛生費】

保健事業や公害対策、廃棄物処理などに

4万2,517円



### 【土木費】

道路や河川、公園の整備や都市計画などに

5万8,304円



### 【民生費】

社会福祉や高齢者、障害者、児童福祉などに

7万8,668円



### 【教育費】

学校教育や生涯学習、スポーツ振興などに

11万1,778円



### 【総務費】

戸籍や統計、選挙、徴税、交通安全などに

11万8,373円



一人当たり  
使った金額は…

◆歳出決算額  
(一般会計)

46万7,806円

平成20年4月1日現在の  
人口5万7,004人

内訳



### 【労働費】

勤労者の支援や勤労者施設の管理運営などに

162円



### 【議会費】

議会活動のためや議員報酬などに

3,250円



### 【商工費】

商工業の振興や観光事業などに

3,295円



### 【農林水産業費】

農業振興や地籍調査、緑化推進などに

6,947円



### 【消防費】

消防や火災、水害、地震などの災害対策に

1万7,117円



### 【公債費】

町が国や金融機関から借りたお金の返済に

2万7,395円



## 特別会計

特別会計とは、ある特定の事業を行うための特定の収入・支出について、一般会計と区別して経理が行われる会計です。

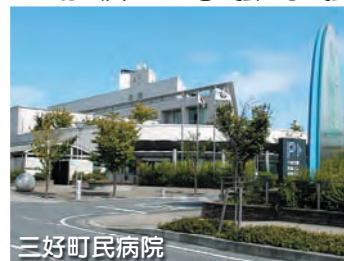
町の特別会計は、国民健康保険特別会計、下水道事業特別会計、老人保健特別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計、やすらぎ霊園特別会計の6会計です。6つの特別会計の決算額は、歳入94億884万円、歳出86億3733万円でした。前年度と比較すると、歳入で4億631万円、歳出で3億6961万円の増加となりました。

### ■特別会計決算額

会計	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	42億5167万円	37億4764万円
下水道事業特別会計	16億1911万円	15億332万円
老人保健特別会計	18億842万円	17億5575万円
農業集落排水事業特別会計	3億1091万円	2億7188万円
介護保険特別会計	13億7432万円	13億2106万円
保険事業勘定	13億4058万円	12億9388万円
介護サービス事業勘定	3374万円	2718万円
やすらぎ霊園特別会計	4441万円	3768万円
合計	94億884万円	86億3733万円

## 企業会計（病院事業）

企業会計とは、独立採算制を原則として企業の色合いの強い事業を行う会計です。



三好町民病院

病院事業会計の決算額は、事業収益および事業費用については事業収益23億1821万円、事業費用23億7353万円でした。前年度と比較すると収入で2096万円、支出で7213万円の増加となりました。

資本的収入および資本的支出については、収入5億8330万円、支出9億9659万円で、前年度と比較すると収入で3億8236万円、支出で7億1448万円の増加となりました。

### ■企業会計（病院事業）決算額

区分	決算額
事業収益	23億1821万円
事業費用	23億7353万円
事業収支	△5532万円
資本的収入	5億8330万円
資本的支出	9億9659万円
資本的収支	△4億1329万円

※資本的収入の資本的支出に対する不足額は、過年度分損益勘定留保資金などで補てん。

## 豊田三好事務組合決算報告

▼問い合わせ＝政策推進課 ☎3280055 FAX3221655

三好町はこれまで、し尿処理や火葬事業、ごみ処理の一部、農業共済事業などについて、豊田市と東西加茂郡の町村と共同で「豊田加茂広域市町村圏事務処理組合」を組織して事務を行ってきました。平成17年4月に豊田市と周辺7町村が合併したことにより、その構成市町村は三好町と豊田市のみとなり、名称を「豊田三好事務組合」として同様の事務を行ってきました。その後、事務の効率化を図るため、平成20年3月31日をもって組合を解散。4月1日からは三好町から豊田市に対して、し尿処理や火葬事業、ごみ処理の一部を委託する方式になりました。

また農業共済事業については、西三河地域における安定的かつ効率的な事業を行うために再編整備を実施。4月1日からは、西三河農業共済組合に事務を引き継ぎました。このことにより豊田三好事務組合の一般会計および農業共済特別会計について、3月31日現在で打ち切り決算を行い、9月に三好町と豊田市それぞれの議会でのその決算が認定されました。

### ■豊田三好事務組合会計別決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	20億4379万円	19億5799万円
農業共済特別会計	1億8519万円	1億5711万円

※歳入歳出差引額は、一般会計については精算後、三好町と豊田市のそれぞれの負担比率に応じて案分し、返還。農業共済特別会計については精算後、事業勘定分は西三河農業共済組合へ引き継がれ、業務勘定分は三好町と豊田市のそれぞれの負担比率に応じて案分し、返還。